

政策評価調書(26年度実績)

政策名	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	政策コード	I-1	関係部局名	福祉保健部、商工労働部
-----	--	-------	-----	-------	-------------

【Ⅰ. 政策の概要】

子育てに係る経済的負担の軽減、悩みや不安の相談体制の強化、男性の子育て参画の推進など、社会全体で子育てを支える環境の整備や、児童虐待の未然防止、ひとり親家庭や障がい児へのきめ細かな支援、母子保健や小児医療提供体制の整備などを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備	達成	A
2	きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援	概ね達成	B
3	安心して子どもを産み育てられる保健・医療の充実	達成	A

【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県の平成26年合計特殊出生率(※)は、1.57(全国1.42)であり、前年の1.56より0.01上がり、7年連続で1.5台を維持したものの、人口の維持に必要なとされる2.07を依然として下回っており、少子化は進展している。

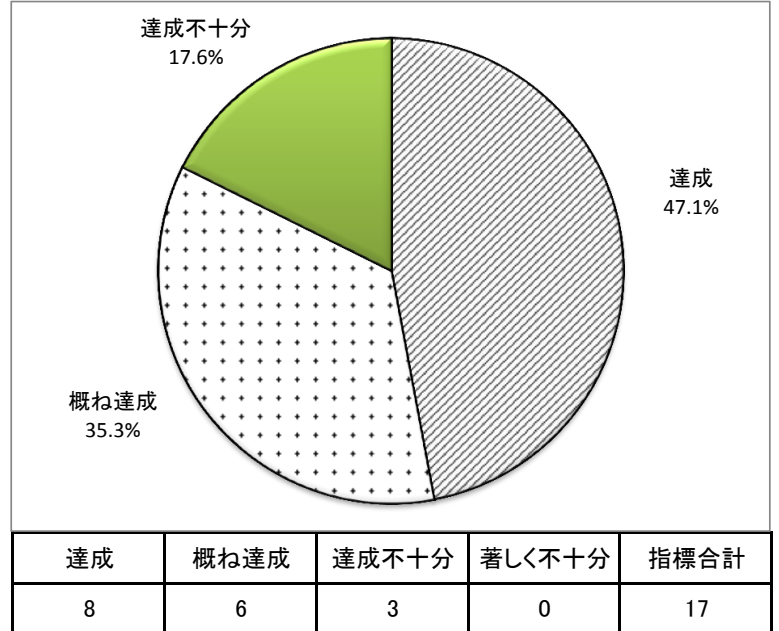
急速な少子化の進行への対応が課題となる中で、結婚や出産に関する県民の希望と現実とのギャップを解消することにより、自然増対策を推進する。さらに、27年度から実施された「子ども・子育て支援新制度」の円滑な施行を図る必要がある。また、増加する子どもの虐待相談等への対応を強化するとともに、26年に施行された「子どもの貧困対策推進法」への対応等、きめ細かな支援を充実させていく必要がある。さらに安心して子どもを産み育てられるよう妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援が必要である。

以上のことも踏まえ、新たに策定した「おおいた子ども・子育て応援プラン(第3期計画)」に基づき、引き続き国・市町村と連携しながら、子育てに係る心理的・経済的負担の軽減や、子育て世代を社会全体で応援する仕組みづくり、子育ても仕事もしやすい環境づくりなどの施策を推進し、子育て満足度日本一の実現に向けた取組を強化していく。

＜合計特殊出生率の推移＞

区分	H22	H23	H24	H25	H26
大分県	1.56	1.55	1.53	1.56	1.57
全国	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—

※合計特殊出生率:

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した数値で、1人の女性が生涯に生む子どもの数の平均を示す。人口の維持に必要な率は2.07とされている。